

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	165	4年	前期	看護学科	必修	医療と経済（共通） Medical Economics	15	1
担当教員								
小淵 港*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
資本主義経済の基本的な仕組みを理解するようにつとめ、経済と医療との関係を社会保障制度とかかわらせて学ぶ。少子高齢化の進行に伴う医療費の増加の現状を知り、日本の医療と医療保険制度の課題について理解を深めることをめざす。								
到達目標（授業目標）								
経済と医療との関係について必要な知識を修得し、少子高齢化に伴って増加する医療費を、社会が負担していけるのかどうか、どのように負担しているのか、自ら考え、自らの意見を持ちうるようになることが目標である。医療と経済に関する新聞記事、雑誌記事等を理解できることが目標。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	講義ガイダンス、医療と経済－概観：講義の狙い、進め方等を説明すると同時に、医療と経済の関係を概説する							
2回	資本主義経済の仕組み：資本主義経済の仕組みを学び、政府の活動が必要となる理由を理解する							
3回	資本主義経済と社会保障：資本主義経済の不安定性との関係で、社会保障制度が形成されてきたことを、理論的・歴史的に検討する							

4回	公的医療制度・医療保険制度の現状と課題（1）：日本の社会保障制度の発達を、公的医療制度、医療保険制度を中心に検討し、現状と課題を明らかにする
5回	公的医療制度・医療保険制度の現状と課題（2）：日本の社会保障制度の発達を、公的医療制度、医療保険制度を中心に検討し、現状と課題を明らかにする
6回	少子高齢化と社会保障・医療費（1）：今後の医療費の見通しとその負担のあり方について検討する
7回	少子高齢化と社会保障・医療費（2）：今後の医療費の見通しとその負担のあり方について検討する 新型コロナのような大規模感染症と政府、経済活動との関係について考える
8回	まとめ・試験：講義の要点整理・試験
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

筆記試験によって評価する。60点以上を合格とする。

教科書	
参考図書等	小塩隆士「高校生のための経済学入門」（ちくま新書） インフォビジュアル研究所「図解でわかる14歳から考える資本主義」（太田出版）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

関連科目

前科目	166	社会保障制度論（共							
後科目	141	医療と法（共通）							

実務家教員

備考	シラバスは教員のスケジュール上の都合や、進捗との関係によって変更する場合がある。					